

庄・蔵本遺跡 2

—藤井節郎記念医科学センター新営、附属図書館蔵本分館増築Ⅱ期、
大塚講堂改修、外来診療棟新営、学生支援センター改修—

2016

国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室

庄・蔵本遺跡 2

—藤井節郎記念医科学センター新営、附属図書館蔵本分館増築Ⅱ期、
大塚講堂改修、外来診療棟新営、学生支援センター改修—

2016

国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室



弥生時代前期中葉の水田畦畔（第24次調査）

序 文

本書は、2011～2012年度に実施した庄・蔵本遺跡第24～26・28・29次の発掘調査報告書です。庄・蔵本遺跡の報告書は、本調査室が単独で発行したものとしては2冊目、徳島県教育委員会との共同で発行したものを含めれば6冊目となります。これまで本遺跡では、計29次の発掘調査が実施され、縄文時代晩期から近世にかけての貴重な文化財が数多く発見されています。その中でも、弥生時代前期のそれは極めて豊富で、初期の農耕集落跡として、学界で注目を集めており、現在、本調査室ではその調査研究と、それを活用した大学教育・地域貢献に努めているところです。

さて、本書で報告する内容の中でも、特に注目されるのは、弥生時代前期の水田跡です。今日、日本列島の水稲農耕は、朝鮮半島からの渡来人によって北部九州にまずもたらされ、結果として弥生時代が始まったとみる考え方が有力です。本遺跡の水田は、渡来人そのものではなく、北部九州で渡来人と在来人の混血によって生まれた弥生人の子孫がもたらしたものと考えられます。眉山の北側に広がっていた自然地形を巧みに利用した、この水田からは、当時の人々の知恵と土木技術をうかがうことができます。本遺跡ではずいぶん前から水田跡が確認されておりましたが、報告書というかたちで、世に送り出すのは、これが初めてとなります。今後、本書と報告資料が、弥生時代の考古学研究、さらには徳島という地域社会での文化財の保存・活用の一助となることをスタッフ一同祈願します。

最後とはなりましたが、発掘調査、整理作業、そして本書の刊行にあたって、ご協力・ご助言を賜った学内外の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年3月31日

徳島大学埋蔵文化財調査室長
端野晋平

例 言

1. 本書は、国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室が2011～2012年度に実施した、本学蔵本キャンパスにおける藤井節郎記念医科学センター新営（第24次調査）、附属図書館蔵本分館増築Ⅱ期（第25次調査）、大塚講堂改修（第26次調査）、外来診療棟新営（第28次調査）、学生支援センター改修（第29次調査）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 整理作業は、中村豊（現・本学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）・山口雄治（現・岡山大学）・石丸恵利子（現・広島大学）、端野晋平・三阪一徳・脇山佳奈・岸本多美子・久米淑子・中原尚子・板東美幸・古川裕美・前田千夏・安山かおり・山本愛子が担当した。
3. 遺構写真の撮影は中村・遠部慎（現・久万高原町教育委員会）・山口が、遺物写真の撮影は三阪・脇山・端野・板東が担当した。
4. 本書の執筆は三阪・脇山・端野がおこなった。担当部分は目次に記載したとおりである。
5. 本書の編集は、端野の指導のもとに、三阪が行った。
6. 本書で使用した座標の値は、世界測地系に基づく国土座標系の値である。方位は座標北、レベルは海拔標高である。
7. 土層および土製品の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』に準拠した。
8. 弥生時代前期の時期区分については、中村（2000・2004）の土器編年に従い、Ⅰ-1様式を突帯文・遠賀川併行期、Ⅰ-2様式を前期中葉、Ⅰ-3・4様式を前期末・中期初頭とした。中期以降は、菅原康夫・瀧山雄一（2000）の土器編年を参考とし、（阿波）Ⅱ～Ⅳ様式を中期、（阿波）Ⅴ様式を後期、（阿波）Ⅵ様式を終末期とした。

中村豊，2000．阿波地域における弥生時代前期の土器編年．田崎博之（編），突帯文と遠賀川．土器持寄会論文集刊行会，松山，pp.471-497.

中村豊，2004．弥生時代前期末・中期初頭を考える：東四国の視点から．古代文化56，204-212.

菅原康夫・瀧山雄一，2000．阿波地域．菅原康夫・梅木謙一（編），弥生土器の様式と編年，四国編．木耳社，東京，pp.1-130.
9. 石器石材については中村、陶磁器の産地については安山から教示をえて、各執筆者が同定した。
10. 本書に掲載した徳島大学構内遺跡の調査記録および出土遺物は、すべて徳島大学埋蔵文化財調査室で保管している。今後、研究・教育の場で積極的に活用されることを期待する。
11. 発掘調査・整理作業にあたっては以下の方々にご指導・ご教示を賜った。記して感謝の意を表したい。

井上智博、植地岳彦、氏家敏之、大北和美、勝浦康守、久保脇美朗、栗林誠治、小林和貴、近藤玲、佐々木由香、鈴木三男、高島芳弘、能代修一、別所秀高（敬称略・五十音順）。

目 次

第1章 地理的・歴史的環境と既往の調査 …………… (三阪) 1	
第1節 庄・蔵本遺跡について…………… 1	
第2節 地理的環境…………… 1	
第3節 歴史的環境…………… 1	
第4節 既往の調査…………… 5	
第5節 本書報告地点と遺構名について…………… 8	
第2章 第24次調査（藤井節郎記念医科学センター新営地点） …………… (端野) 13	
第1節 調査の概要…………… 13	
1. 調査にいたる経緯	
2. 調査体制と期間	
3. 調査地点の位置と区割り	
4. 調査の概要	
第2節 調査成果…………… 16	
1. 基本層序	
2. 第3遺構面の遺構	
3. 第1・2遺構面の遺構と遺物	
4. 包含層・攪乱出土遺物	
第3章 第25次調査（附属図書館蔵本分館増築Ⅱ期地点） …………… (三阪) 39	
第1節 調査の概要…………… 39	
1. 調査にいたる経緯	
2. 調査体制と期間	
3. 調査地点の位置と区割り	
4. 発掘調査の概要	
第2節 調査成果…………… 40	
1. 基本層序	
2. 遺構と遺物	
第4章 第26次調査（大塚講堂改修地点） …………… (脇山) 47	
第1節 調査の概要…………… 47	
1. 調査にいたる経緯	
2. 調査体制と期間	
3. 調査地点の位置と区割り	
4. 調査の概要	

第2節 調査成果	50
1. 基本層序	
2. 第3遺構面の遺構と遺物	
3. 第2遺構面の遺構と遺物	
4. まとめ	
第5章 第28次調査（外来診療棟新営地点）	（三阪） 65
第1節 調査の概要	65
1. 調査にいたる経緯	
2. 調査体制と期間	
3. 調査地点の位置と区割り	
4. 調査の概要	
第2節 調査成果	67
1. 基本層序	
2. 第3遺構面の遺構と遺物	
3. 第2遺構面の遺構と遺物	
4. 包含層・攪乱出土遺物	
第6章 第29次調査（学生支援センター改修地点）	（脇山） 97
第1節 調査の概要	97
1. 調査にいたる経緯	
2. 調査体制と期間	
3. 調査地点の位置と区割り	
4. 調査の概要	
第2節 調査成果	99
1. 基本層序	
2. 第3遺構面の遺構と遺物	
3. 第2遺構面の遺構と遺物	
4. 第1遺構面の遺構と遺物	
5. まとめ	
第7章 総括	（三阪） 129
第1節 弥生時代	129
1. 前期中葉	
2. 前期末・中期初頭	
3. 後期・終末期	
第2節 古墳時代以降	132
1. 古墳時代	
2. 古代・中世	
3. 近世・近現代	

挿 図 目 次

第1図	庄・蔵本遺跡と周辺遺跡の位置……………	4	第39図	旧河道1土層断面……………	55
第2図	庄・蔵本遺跡の既往調査地点と本書報告地点の位置……………	6	第40図	旧河道1出土遺物1……………	55
第3図	作業風景……………	13	第41図	第2遺構面全体図……………	56
第4図	現地説明会風景……………	13	第42図	旧河道1出土遺物2……………	57
第5図	藤井節郎記念医科学センター新営地点の位置……………	14	第43図	旧河道1出土遺物3……………	58
第6図	調査地点の区割りと土層断面の位置……………	15	第44図	旧河道2出土遺物……………	59
第7図	北区A-A'土層断面……………	17	第45図	溝5……………	61
第8図	北区B-B'・C-C'・F-F'土層断面……………	18	第46図	井戸1出土遺物……………	61
第9図	北区D-D'・E-E'土層断面……………	19	第47図	不明遺構1・2……………	61
第10図	南区G-G'・H-H'土層断面……………	20	第48図	攪乱出土遺物……………	62
第11図	南区I-I'土層断面……………	21	第49図	第3遺構面全体図と土層断面の位置……………	66
第12図	南区J-J'土層断面……………	22	第50図	A区中央西壁A-A'・東壁B-B'土層断面……………	68
第13図	南区K-K'土層断面……………	23	第51図	B区西壁C-C'・東壁D-D'土層断面……………	69
第14図	水田区画の法量……………	24	第52図	B区南壁E-E'土層断面……………	70
第15図	北区第3遺構面平面図……………	25	第53図	C1区東壁F-F'土層断面……………	71
第16図	南区第3遺構面平面図……………	26	第54図	C1区南壁G-G'土層断面……………	72
第17図	水田畦畔の全景……………	27	第55図	C1区サブトレンチ東壁・南壁H-H'土層断面……………	73
第18図	水田畦畔の検出状況……………	29	第56図	A区第3遺構面平面図……………	75
第19図	水田畦畔に伴う遺物の出土状況……………	30	第57図	A区第3遺構面全景(西から)……………	75
第20図	庄・蔵本遺跡基本層序模式図……………	30	第58図	B区第3遺構面平面図……………	76
第21図	遺構の土層断面(第3遺構面)……………	31	第59図	C1区第3遺構面平面図……………	77
第22図	北区第1・2遺構面平面図……………	32	第60図	C2区第3遺構面平面図……………	78
第23図	溝の完掘状況……………	33	第61図	B区第3遺構面全景(西から)……………	79
第24図	遺構の土層断面(第1・2遺構面)……………	34	第62図	C1・2区第3遺構面全景(南から)……………	79
第25図	第1・2遺構面の遺構出土遺物……………	36	第63図	水田畦畔検出状況・遺物出土状況、土坑状の窪みI-I'・J-J'土層断面……………	80
第26図	包含層・攪乱出土遺物……………	36	第64図	水田出土遺物……………	81
第27図	包含層出土遺物……………	37	第65図	自然落ち込み……………	83
第28図	遺構全体図……………	41	第66図	自然落ち込み出土遺物……………	84
第29図	西区北壁A-A'土層断面……………	42	第67図	第2遺構面全体図……………	86
第30図	西区旧河道a-a'土層断面……………	43	第68図	B区第2遺構面平面図……………	87
第31図	出土遺物……………	44	第69図	C1区第2遺構面平面図……………	88
第32図	調査風景……………	47	第70図	C2区第2遺構面平面図……………	89
第33図	調査地点の区割りと土層断面の位置……………	49	第71図	溝土層断面・完掘状況……………	90
第34図	第2調査区東壁A-A'土層断面……………	51	第72図	土坑・ピット土層断面……………	91
第35図	第4調査区北壁B-B'土層断面……………	51	第73図	包含層・攪乱出土遺物……………	93
第36図	第6調査区南壁C-C'・D-D'土層断面……………	52	第74図	調査風景……………	97
第37図	溝1～3完掘状況(南から)……………	53	第75図	調査区の区割りと土層断面の位置……………	98
第38図	第3遺構面全体図……………	54	第76図	南東区南壁A-A'・西壁B-B'土層断面……………	100

第77図	南区南壁 C-C' 土層断面	101	第96図	土坑01	116
第78図	西区西壁 D-D'・E-E' 土層断面	102	第97図	土坑02・03	116
第79図	第3遺構面全体図	103	第98図	土坑05・06	117
第80図	溝27・31	105	第99図	土坑08	117
第81図	溝28～30	106	第100図	不明遺構10・15	117
第82図	溝29	107	第101図	土坑1005	117
第83図	溝30	107	第102図	柱穴11～14・16 (掘立柱建物)	119
第84図	溝32	108	第103図	土坑17	121
第85図	溝1001	108	第104図	土坑18	121
第86図	第1・2遺構面全体図	109	第105図	土坑19	121
第87図	溝1002	111	第106図	土坑22	121
第88図	溝1003	111	第107図	7層出土遺物	123
第89図	溝04・07	111	第108図	6・7層出土遺物	124
第90図	溝20	111	第109図	6層出土遺物	124
第91図	溝21	112	第110図	4層出土遺物	125
第92図	溝24	112	第111図	溝23出土遺物	126
第93図	溝25・26	113	第112図	庄・蔵本遺跡の水田域	130
第94図	自然流路09	114	第113図	庄・蔵本遺跡弥生時代前期の遺構配置図	131
第95図	土坑1004	116			

表目次

第1表	庄・蔵本遺跡既往調査一覧表	7	第3表	出土遺物観察表	45
第2表	遺構名対照表	9	第4表	包含層・攪乱出土遺物観察表	94

図版目次

巻頭図版	弥生時代前期中葉の水田畦畔 (第24次調査)	図版5	第28次調査地点出土遺物1
図版1	第24次調査地点出土遺物	図版6	第28次調査地点出土遺物2
図版2	第25次調査地点出土遺物	図版7	第29次調査地点出土遺物1
図版3	第26次調査地点出土遺物1	図版8	第29次調査地点出土遺物2
図版4	第26次調査地点出土遺物2	図版9	第29次調査地点出土遺物3